

2019年10月10日

株式会社日本政策金融公庫

食品製造業の6割超がHACCPの導入に取り組む ～食品小売業、飲食業の約7割が取引先にHACCP関連の認証取得・導入を求める～

<令和元年7月食品産業動向調査(特別設問:HACCPへの取り組み)>

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)農林水産事業は、「令和元年7月食品産業動向調査」の特別設問で、昨年の食品衛生法改正により、原則、すべての食品事業者に導入が義務付けられたHACCP(※)の取り組み状況について調査を実施しました。

<調査結果の概要>

- 食品製造業者の6割超がHACCPを「導入済み」または「導入途中」と回答し、HACCP導入に取り組んでいることがわかりました。
- HACCP導入の契機は、売上規模の比較的小さい企業では「義務化による導入」が多く、売上規模が大きい企業では「取引先からの要請」や「異物混入等の食品事故を契機とする消費者の意識向上」が多くなっています。
- 取引先の食品製造業者に対して、HACCP関連の認証取得や導入を求めている食品関連企業は、卸売業で約6割、小売業、飲食業(外食)で約7割となりました。

※ HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point)

原料受入から最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入等の危害を予測したうえで、危害の防止につながる特に重要な行程(例えば加熱・殺菌、金属探知機による異物の検出等の工程)を継続的に監視・記録する工程管理システムをいう。

- 本調査における、「HACCPの導入」と「HACCP認証の取得」の定義は以下のとおり。

「HACCPの導入」

第三者承認を受けていないもの(取引先から求められ、HACCPと同等の衛生管理を行っている場合や自主的にHACCPと同様の取り組みがなされている場合などを含む)。

「HACCP認証の取得」

第三者承認を受けているもの(「業界団体や地方公共団体によるHACCP認証」、「対米国、対EU輸出水産食品の登録施設」、「対米国、対EU輸出食肉の認定施設」、「食品衛生法に基づく総合衛生管理製造過程承認制度」等。HACCPの名称で呼ばれていないISO22000、FSSC22000、JFSの認証を含む)をいう。

<調査結果のポイント>

○6割超の食品製造業者がHACCPの導入に取り組む(資料:図1~4)

食品製造業者にHACCPの導入状況を聞いたところ、「導入済み(42.0%)」、「導入途中(20.3%)」を合わせた62.3%がHACCPの導入に取り組んでいることがわかりました。また、平成29年1月の前回調査から、「導入済み」、「導入途中」の合計は11.8ポイント上昇しています。

HACCP認証の取得状況を聞いたところ、「取得済み(35.3%)」、「取得途中(13.4%)」を合わせた48.7%の食品製造業者が、HACCP認証の取得に取り組んでいることがわかりました。

HACCP 認証を「取得済み」、「取得途中」、「取得を検討中」と回答した方に対して、取得・検討予定の HACCP 関連の認証の種類を聞いたところ、FSSC22000 や ISO22000 などの「国際的な HACCP 認証 (41.1%)」が最も多く、次いで「業界団体による HACCP 認証 (34.3%)」、「自治体による HACCP 認証 (30.2%)」となりました。

HACCP の導入及び認証取得状況について売上階層別に見ると、売上規模が大きい企業ほど「HACCP 導入済み」、「HACCP 認証取得済み」の割合が高く、認証の種類は「国際的な HACCP 認証」の割合が高くなりました。一方で、売上規模が小さい企業は「自治体による HACCP 認証」、「業界団体による HACCP 認証」の割合が高くなりました。

○HACCP 導入の契機は「義務化」が最多、導入の課題は「資金面」(資料:図5~9)

HACCP 導入の契機は、「義務化による導入 (37.9%)」が最多、次いで「取引先からの要請 (18.4%)」、「異物混入等の食品事故を契機とする消費者の意識向上 (17.5%)」となりました。

売上階層別にみると、売上高が 10 億円未満の企業は、「義務化による導入」が約半数を占めていますが、売上規模が大きくなるほど「取引先からの要請」や「異物混入等の食品事故を契機とする消費者の意識向上」の割合が高くなる傾向がみられます。

HACCP 導入の際の課題は、導入時の資金負担や導入前後のコストに関連する回答が多く、「施設・設備の整備 (初期投資) に掛かる資金 (27.4%)」、「HACCP 導入までに掛かる費用 (13.3%)」、「HACCP 導入後に掛かるモニタリングや記録管理コスト (11.6%)」を合わせた約半数が資金負担面を課題に挙げています。

売上階層別にみると、売上規模が 50 億円未満の階層では資金負担面を課題とする回答が多くなっています。また、売上高 100 億円以上の企業においては「特に問題がない」が約 4 分の 1 を占めています。

HACCP 導入・認証取得による効果は、「品質、安全性の向上 (56.0%)」が最も多く、次いで「企業の信用度やイメージの向上 (17.6%)」、「従業員の意識向上 (8.9%)」となりました。

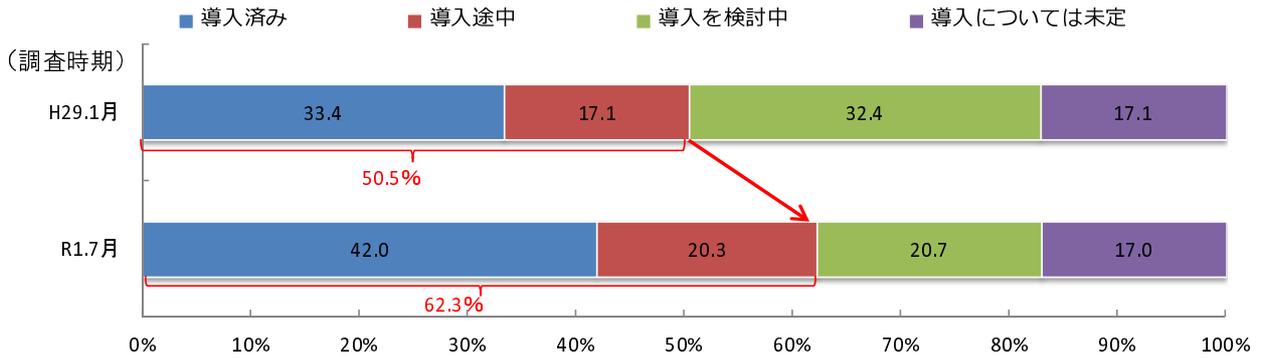
○食品卸売業、食品小売業、飲食業の過半が HACCP に取り組む企業との取引を希望

(資料:図10)

食品卸売業、食品小売業、飲食業を対象に、HACCP 関連の導入や認証の取得について、取引先にどの程度の水準を求めるかを聞いたところ、「指定の認証を取得しているところと取引をしたい (食品卸売業 23.2%、食品小売業 37.0%、飲食業 35.1%)」がいずれの業種でも最多となりました。さらに、「認証のうちどれか一つ以上の認証を取得しているところと取引をしたい」、「認証はなくても、導入済みであればよい」を加えた、HACCP 関連の認証を取得または導入済みの企業との取引を希望する割合は、食品卸売業 57.5%、食品小売業 74.0%、飲食業 67.5%となり、いずれの業種でも過半数が HACCP 関連の認証や導入している食品製造業者との取引を希望していることがうかがえました。

調査時点	令和元年7月1日
調査方法	郵送により調査票を配布し郵送により回収
調査対象	全国の食品関係企業 (製造業、卸売業、小売業、飲食業) 6,859 社
有効回収数	全体で 2,406 社 (回収率 35.1%) 《内訳》 製造業 : 1,572 社、卸売業 : 586 社、小売業 : 194 社、飲食業 : 54 社

図1 食品製造業でのHACCP導入状況



(参考) 売上階層別HACCP導入状況

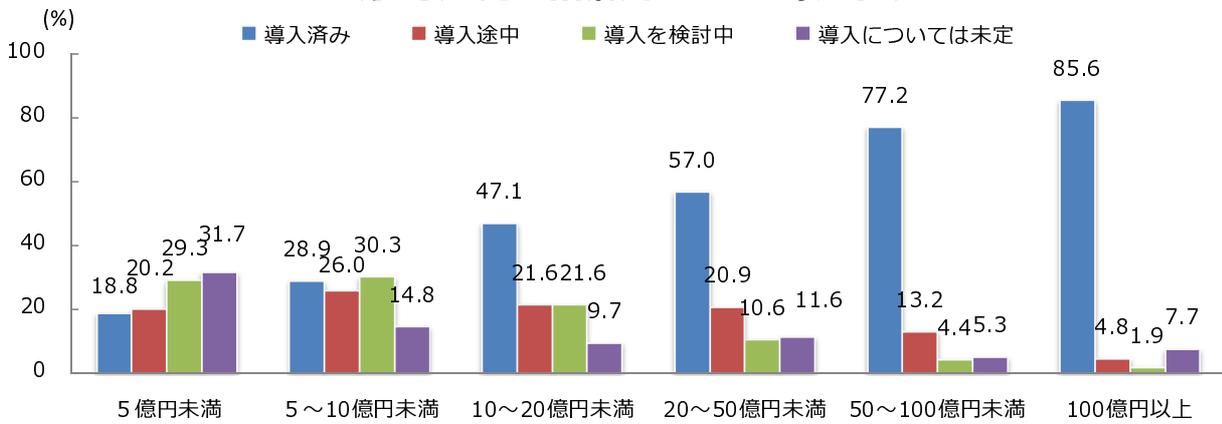
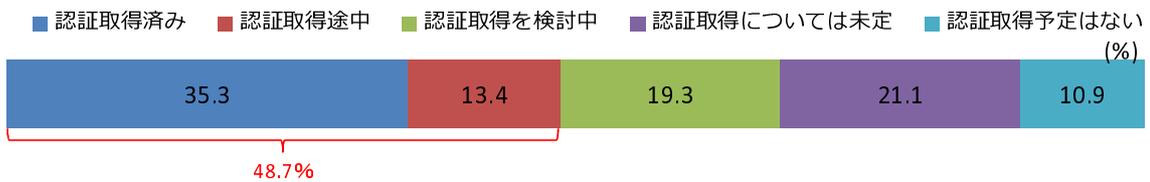
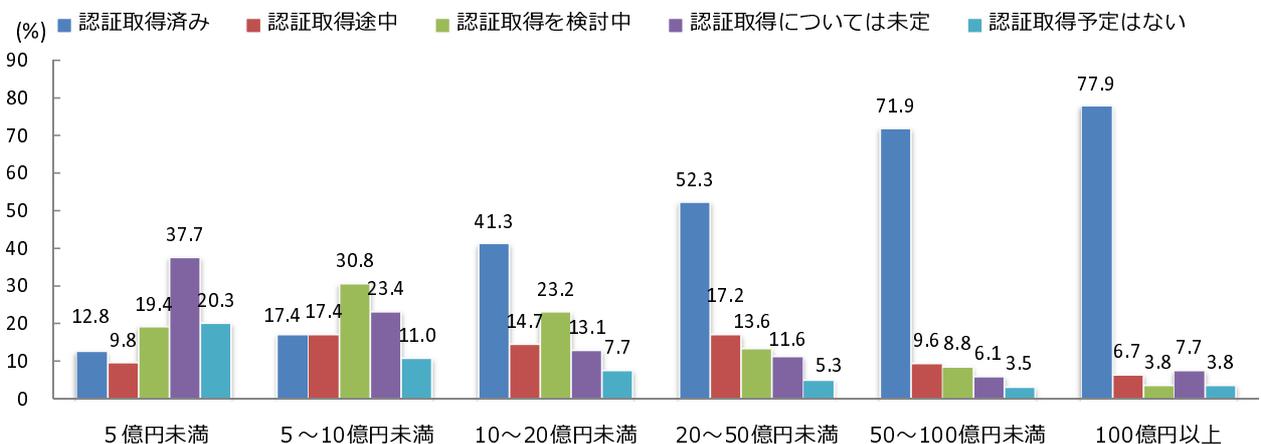


図2 HACCP認証取得状況



(参考) 売上階層別HACCP認証取得状況



**図3 食品製造業で導入しているHACCP関連の認証の種類
(複数回答)**

※HACCP認証を「取得済み」、「取得途中」、「取得を検討中」と回答した企業に調査

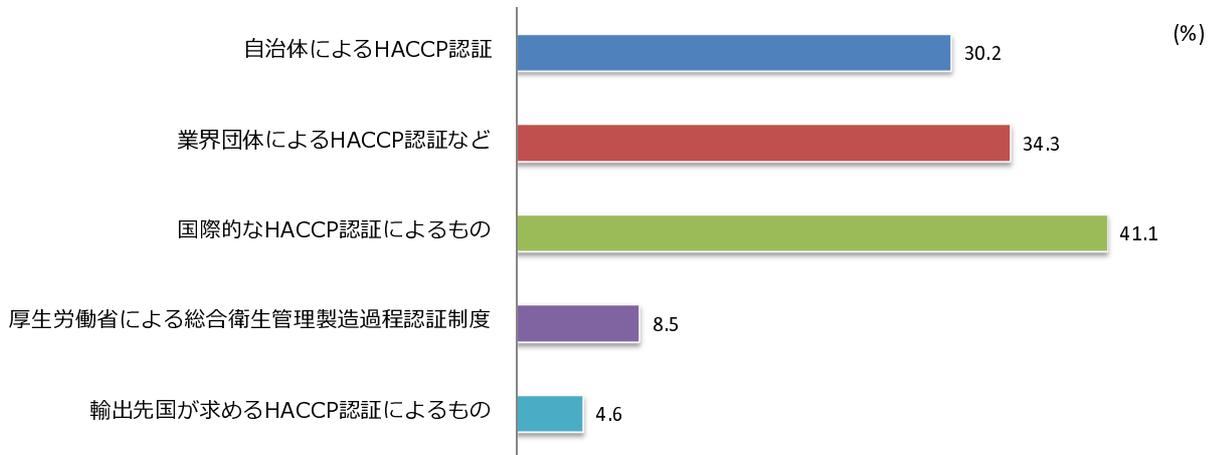


図4 売上階層別HACCP関連の認証の種類

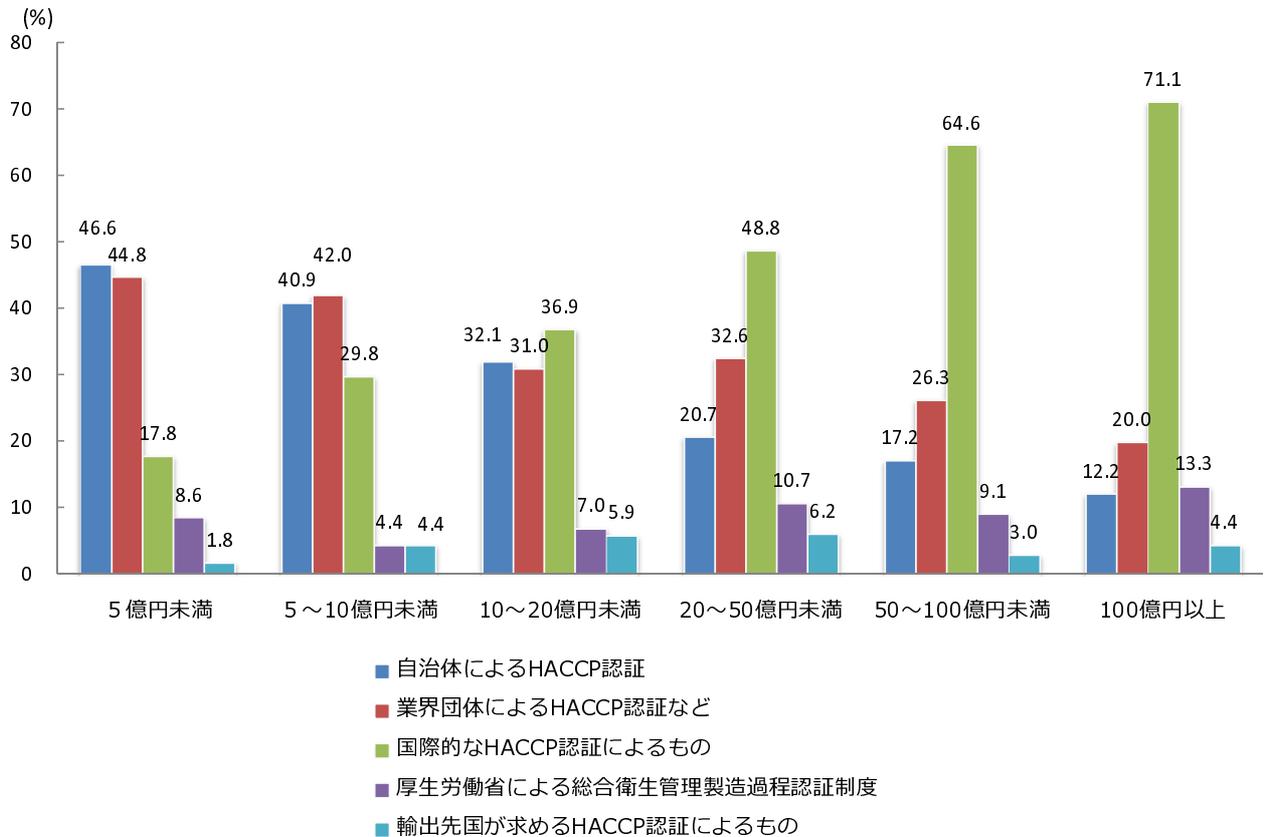


図5 HACCP導入の契機

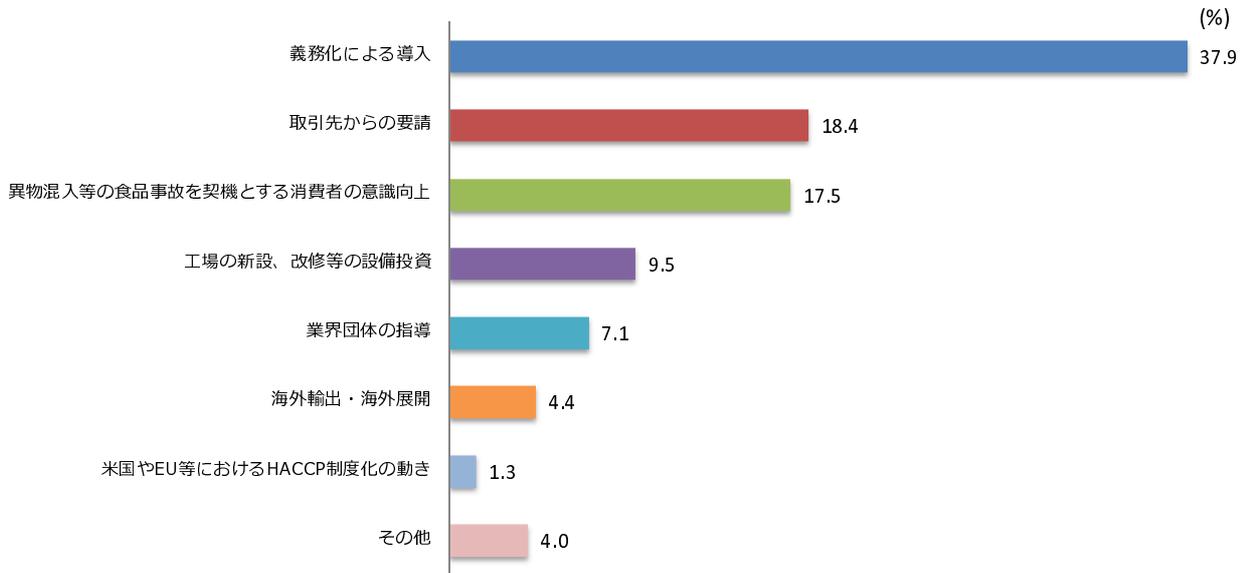


図6 売上階層別 HACCP導入の契機

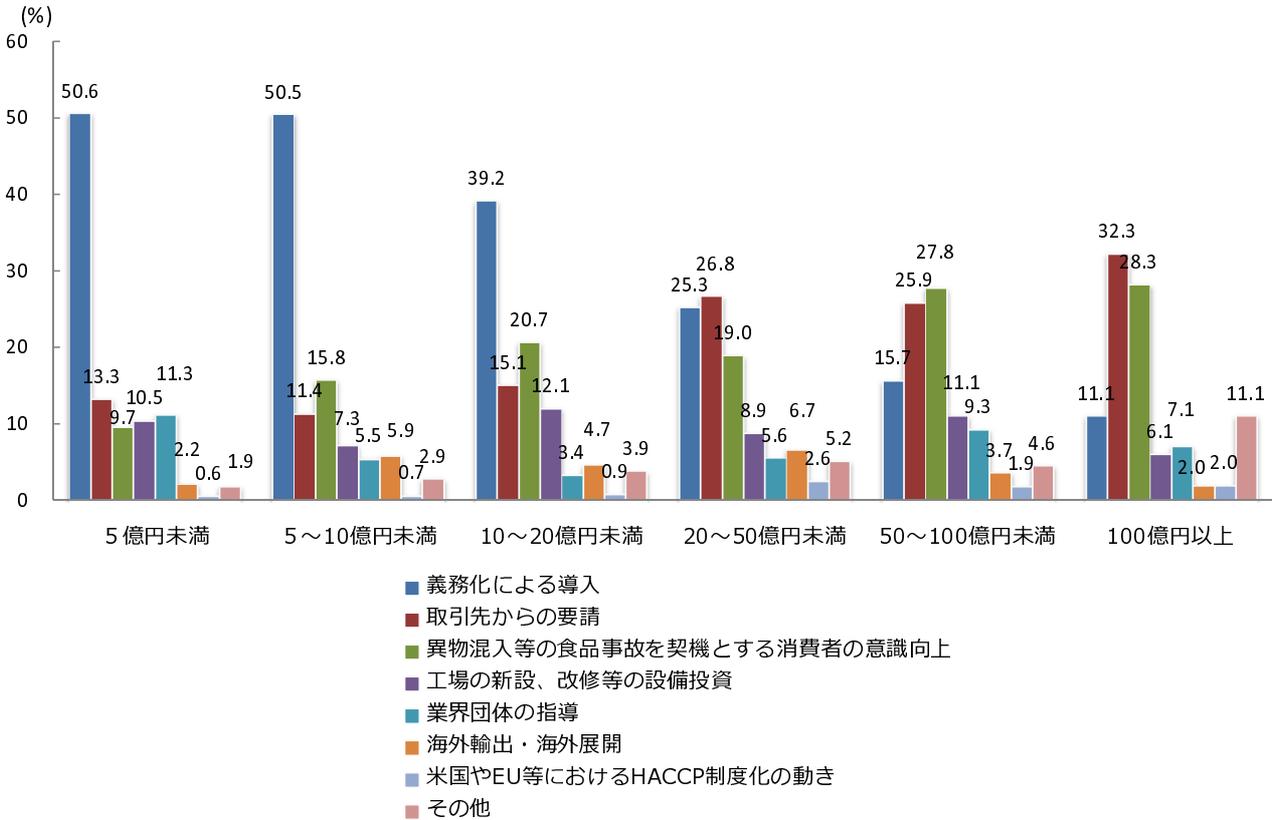


図7 HACCP導入の際の課題

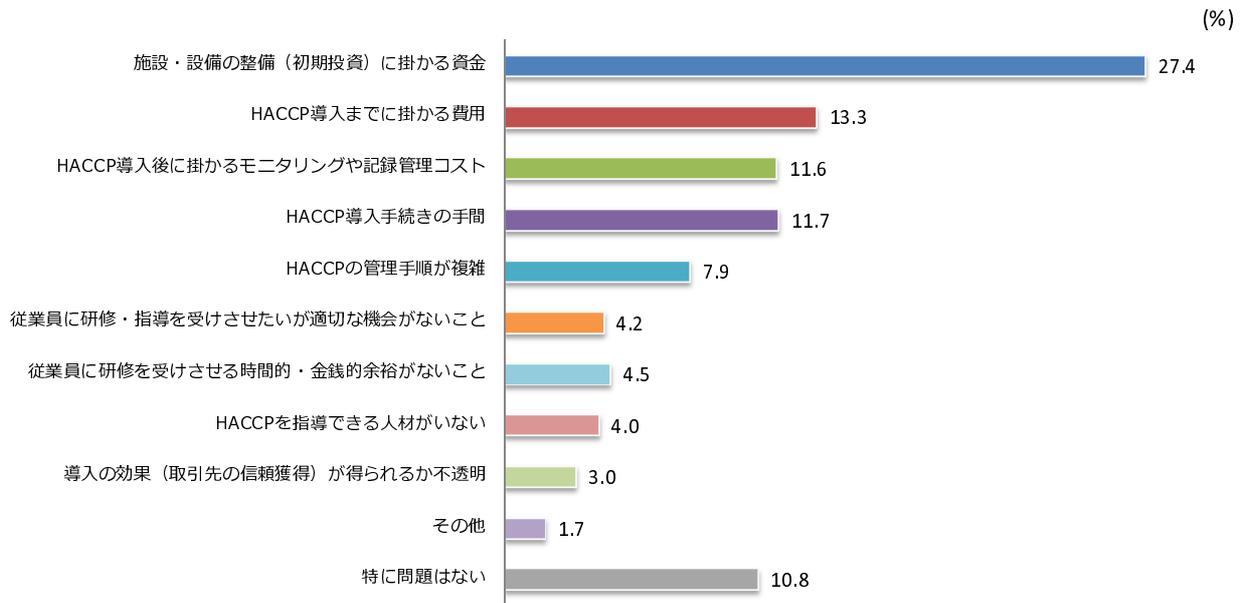


図8 売上階層別 HACCP導入の際の課題

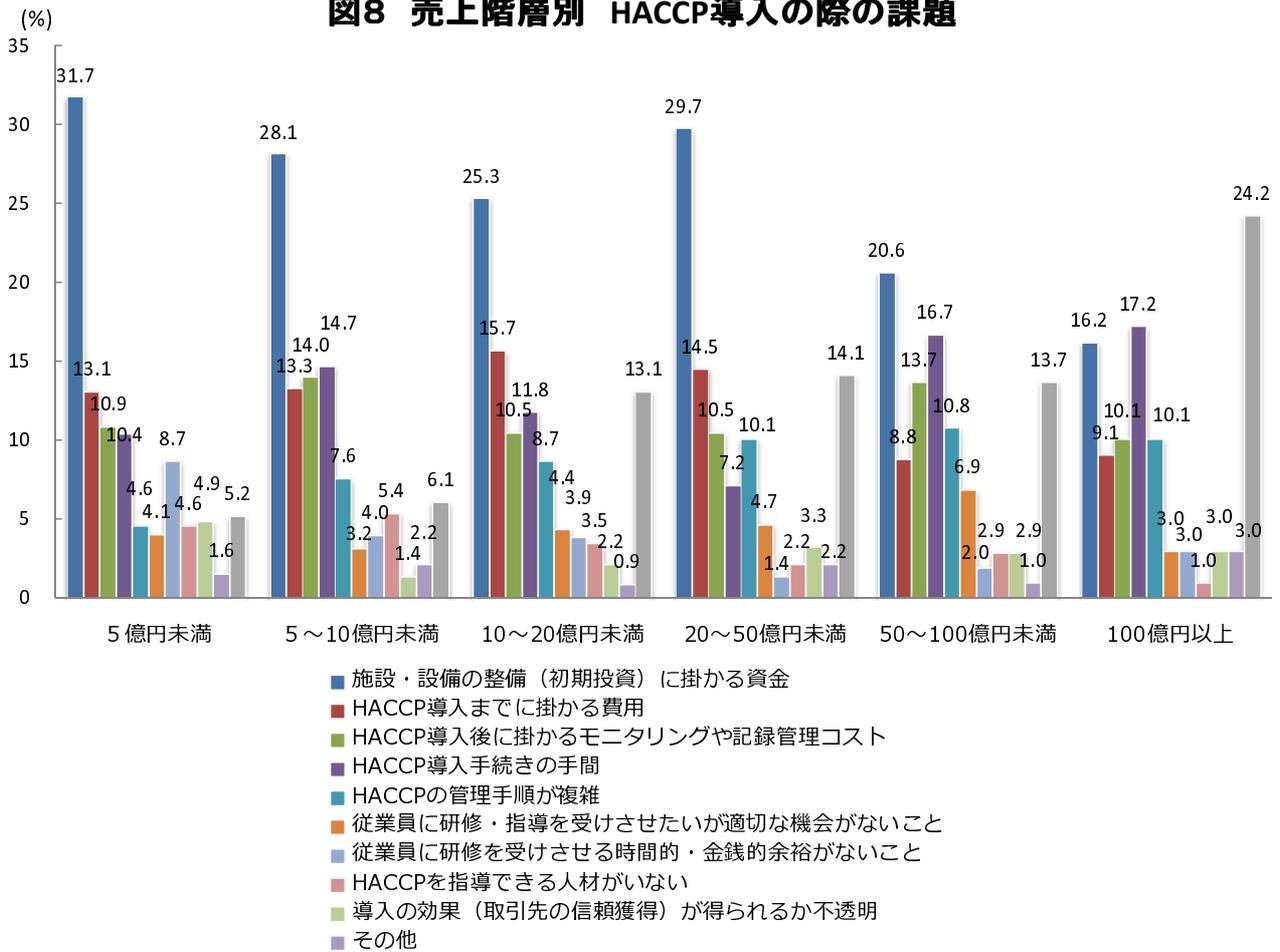


図9 HACCP導入(または認証取得)による効果(または期待する効果)

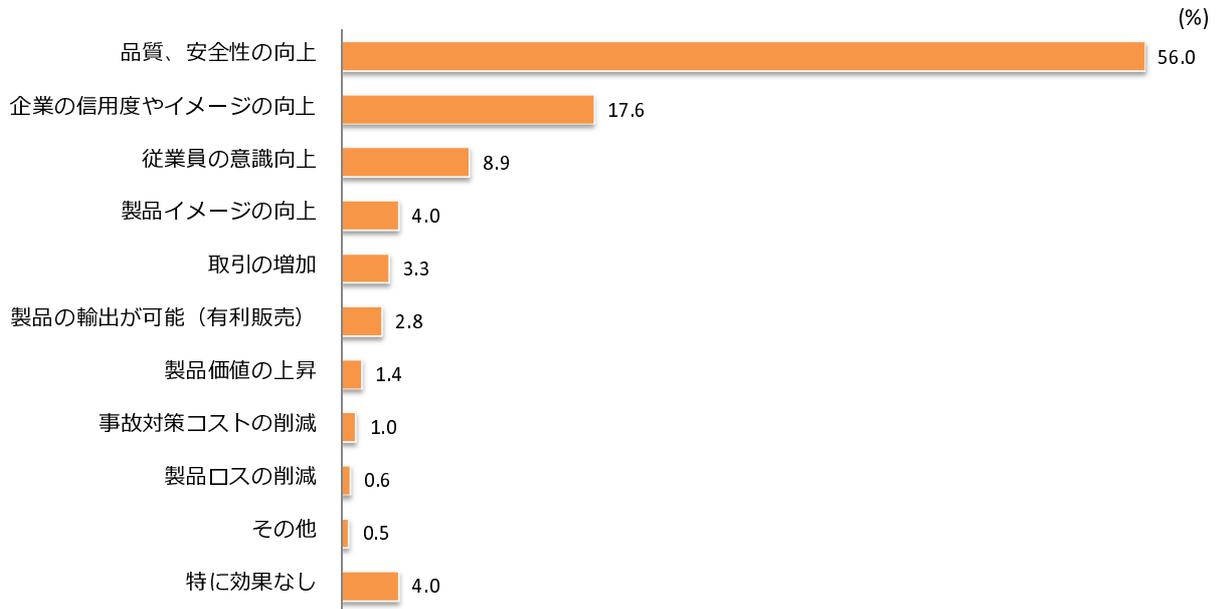


図10 取引先にHACCP関連の導入や認証をどの程度の水準まで求めるか

- 指定の認証を取得しているところと取引をしたい
- 認証のうちどれか1つ以上の認証を取得しているところと取引をしたい
- 認証はなくても、導入済みであればよい
- 認証はなくても、導入途中であればよい
- 認証はなくても、導入を検討していればよい
- 取引先のHACCP導入状況及び認証取得状況に関心がない

